



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

R A患者DNAに組み込まれたプロウイルスの証明
と免疫学的治療に関する研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 武内, 章二 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/295

は し が き

慢性関節リウマチ（R A）の病態については、多くの研究報告により次第に明らかにされつつあるが、発症原因をはじめ多くの不明な問題点を抱えている。特に、その治療に関しては対症療法が主体に行われており、抜本的な治療対策がなされていないのが現状である。周知のとおり、本疾患は免疫破綻による種々の免疫異常を二次的に呈する病態であると考えられている。

1990年H T L V - 1感染者中にR Aと類似関節炎を発症した患者の症例報告がなされ、1991年には、類似疾患群のS L E患者でgag. 蛋白質との関連についても報告がなされている。

1992年、我々もウエスタンブロット法によりgag. の他にgp19. gp24. gp53の陽性バンドの確認をし、報告してきた。しかし、これらの証明は蛋白合成が行われた後の抗体検索にとどまっており、細胞内（主にD N A）に組み込まれたウイルス（プロ. ウイルス）の確認は、抗体産生が出来ないため全く不可能である。したがって、我々はR A患者を対象にしてH T L V - 1ウイルスのみならず、その他のウイルスについてもP C R法を用いてこのプロ. ウイルスの確認を行い、フローサイトメトリーにより、ウイルスの染色体番号組み込み個所の同定を行い、将来への抜本的な遺伝子治療への道を開きたいと考えている。

本研究の目的は、慢性関節リウマチに対する新しい免疫学的治療法の確立を目指し、基礎的、臨床的基盤に立った研究を行うことを目的とした。

研究組織

研究代表者 : 武内章二 (岐阜大学医療技術短期大学部教授)

研究経費

平成7年度	1, 100千円
平成8年度	700千円
平成9年度	400千円
計	2, 200千円